

スポーツビジネス論

スポーツビジネス論 I

Sports Business

NISHIO Atsuto
西尾 篤人

■授業の目的

スポーツを取り巻くビジネスには様々なものがある。たとえば、選手、球団(チーム)、スポーツ施設、メーカー、メディア、ドクター、トレーナー、弁護士等である。プロ・プレイヤーは自らのプレーに対する報酬を獲得するだけでなく、企業と契約を結び広告塔となってプレーをする。

授業の目的：スポーツ産業の中で特に球団(チーム)経営について、北米のプロスポーツおよびカレッジスポーツ、アジアのスポーツ、ヨーロッパのスポーツにおける歴史など特徴を示しながら概要を紹介する。また、スポーツ産業で働くための情報を提供する。

■授業の到達目標

各国スポーツの歴史的背景、枠組などの特徴および課題、およびスポーツに関連した仕事の内容を理解する。

■授業計画

- 1 **ガイダンス・スポーツビジネス概論**
スポーツビジネスの枠組等を示すとともに、スポーツビジネス論の講義内容、評価の仕方、試験の実施方法等を紹介する。
- 2 **プロ球団経営(北米編)**
アメリカのプロ球団(MLB,NBA,NFL,NHL)について、運営組織、年棒システム等を解説する。
- 3 **プロ球団経営(NBA)**
アメリカのプロバスケットリーグであるNBAについて、運営組織、球団の移転、選手の年棒、および課題等について解説する。
- 4 **プロ球団経営(NFL)**
アメリカのプロフットボールリーグであるNFLについて、運営組織、球団の移転、選手の年棒、および課題等について解説する。
- 5 **アメリカの大学チーム(バスケット、フットボール)**
ビッグ・ビジネスとなっているアメリカの大学バスケットボールチームおよび大学フットボールチームの運営について、全米運営組織、チーム収入と支出、スタジアム管理、企業との契約、および課題等について解説する。
- 6 **球団経営(日本)**
日本のプロ野球とサッカーを中心に、運営組織、球団経営、年棒、および課題等について解説する。
- 7 **球団経営(ヨーロッパ)**
ヨーロッパのサッカーを中心に、運営組織、球団経営、世界戦略、および課題等について解説する。
- 8 **スポーツ施設運営**
スタジアムの運営について、適正と資格など日本とアメリカと比較をしながら解説する。
- 9 **スポーツ興行**
テレビ局のスポーツイベント協賛等について解説する。
- 10 **スポーツ用具製造業**
スポーツ用具製造・販売業について、現状と課題を解説する。
- 11 **スポンサーシップ**
企業のスポンサーシップについて、アクティベーションなどと関連させながら解説する。
- 12 **スポーツトレーナー**
スポーツトレーナー・アスレチックトレーナーの資格(チーム、個人)、および仕事について解説する。
- 13 **スポーツドクター・スポーツファーマシスト**
スポーツドクター・スポーツファーマシストの資格(チーム、個人)、および仕事について解説する。
- 14 **スポーツ代理人**
プロスポーツ選手が契約交渉をする際に立ち会う弁護士等、スポーツ代理人業について解説する。
- 15 **まとめ**
半期の授業のまとめを行う。
履修者数が少ない場合、期末テストを実施する。

■授業の方法

球団経営に関して、アメリカのメジャースポーツであるNFL、NBA、大学のフットボール、バスケットボール、バレーボール、日本の野球、ヨーロッパのサッカーについて、球団(チーム)経営および運営の現状とその課題、スポーツ施設運営、スポーツ用具製造業、スポーツトレーナー、スポーツドクター、スポーツ代理人に関して、資格の取得や現状を PowerPoint とビデオ画像を使用したプレゼンテーション形式で授業を進める。

■予習・復習

可能な限り講義用の資料は、<http://www.ner.takushoku-u.ac.jp/anishio/index.html> に公開します。事前に確認してください。ノートを必ず作成し、その授業時間で理解できなかったことは、次回の講義の際に質問してください。

■成績評価の方法

学期末試験で評価します。

■教科書・参考書

教科書：今年度は使用しない。

参考書：Mark Nagel & Richard Southall "Introduction to Sport Management: Theory and Practice" (Kendall Hunt) 2011

■関連する科目

特になし。